

こころのSOSを伝えよう

生徒指導主事 城戸 正剛

新年度がスタートして2か月が経ちました。学校生活に慣れてきた頃に出てくるのが『悩み』事です。6月の全校集会では、『1人で悩みを抱え込まない』『身近な信頼できる大人に相談する』ことを伝えました。全国調査によると **81.2%の中学生が悩みや不安があると**回答しています。つまり、悩み事があることは**自然なこと**なのです。様々な解決方法があると思いますが、オススメするのは『**身近な信頼できる大人に相談する**』ことです。学校の先生に相談する生徒もいれば、家族に相談する生徒もいると思います。

まずは、自分の気持ちを誰かに伝える。次に、その思いをしっかりと受け止めてもらう。最後に、一緒に解決に向けた方法を模索する。自分で解決することは大切ですが、誰かに助けを求めることも同じくらい大切なことです。家庭と学校で大切な子供たちを見守っていきましょう。

県体予選をひかえて～感染症対策の徹底について～

未だに石川県内の新型コロナウイルス感染症の感染者は高い数値を維持しています。いつ、どこで、だれが、どんな風に感染するかは、分かりません。つまり、誰が感染してもおかしくない状況にあります。だからこそ、基本的な感染症対策や考え方を再確認することが必要です。6月には、3年生にとって最後の県体予選が迫っています。全国大会へと続く第一歩になり、1・2年生にとっても数少ない大会の一つです。特に3年生の大会にかける思いは一段と高いはずです。大事な大会も感染症によって**出場辞退に追い込まれる可能性**があります。津幡中生が全員、大会に出場することができるようにご家庭でもサポートをお願いします。

皆さんに一番伝えたいこと

一人で悩みを抱え込まないで

身近な人の中には信頼できる大人が必ずいます。苦しい時には助けを求めてください。



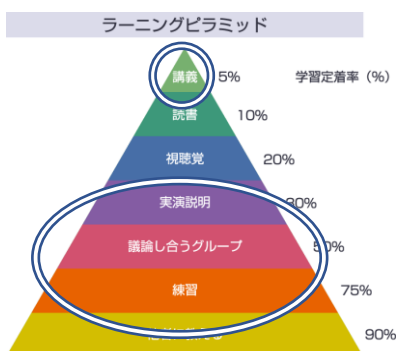
学習の定着率を高めるには?!

研究主任 鶴山 達也

本校では授業や学習における目標として『自ら考え表現できる生徒の育成』を掲げて、全職員で授業力の向上や生徒の学力向上に向けた取り組みを行っています。その中でも、全教科を挙げて取り組んでいるのが、【自らの意見を表現する力】の向上を図るためのグループ活動です。

自分1人の力では気づかない考えや解決できない課題、思いつかなかったアイデアも、友達との関わり合いの中から、ヒントが生まれたり、逆に友達に自分の考えを伝えることで、友達だけでなく自分の意見もより深まったりすることがよくあります。

先月末に生徒対象に行った学習アンケートではアンケート結果から約30%の生徒は自分の意見を表現・発表したり、話し合うグループ活動が苦手な生徒もいるようです。しかし、約90%の生徒はグループ学習による学習効果の高まりを感じています。



左の図は学習方法と定着率の関係を表したグラフです。自分の意見を表現せずに、友達や先生の意見を聞いているだけでは、5%の学習効果しか得られません。しかし議論しあうグループ活動や、他者に自分の意見を表現する活動を通すことで、学習効果は一気に跳ね上がります。

授業の中では自分の意見を積極的に表現することが大切です。その際、正解だけを言う必要はありません。友達と意見を交流させることで間違いを修正し、足りない意見をお互いに補足しあうことで自分の意見を強化するなど、より高いレベルで学習が進んでいくのです。

7月の行事予定変更のお知らせ

7月29日(金)は予定を変更し、**全校登校日**は実施いたしません。なお、**夏季休業中の全校登校日**はありません。よろしくお願いいたします。